

データマネジメント試験（仮称） 科目 A のサンプル問題

問1 組織においてデータガバナンスを確保することが重要である背景及び理由として、最も適切なものはどれか。

ア データの活用が広がる中で、組織内のデータの品質やセキュリティを維持し、意思決定の精度向上、法令遵守などを実現することによって、組織の価値と信頼を高めるため。

イ データの活用が広がる中で、組織内のデータを部門ごとに分断（サイロ化）し、保有するデータの内容を秘匿にすることによって、部門を越えたデータアクセスを統制するため。

ウ デジタル技術が高度化する中で、データ基盤を導入する際の評価基準及びプロセスを組織内で確立することによって、情報システム部による IT コントロールを強化するため。

エ デジタル技術が高度化する中で、データを処理する人手の業務を自動化ツールに置き換えるデジタル化を推進することによって、データ処理に関わる人的コストを最適化するため。

問2 AI や BI ツールの処理対象となるデータは、そのデータ品質を適切に維持することが重要である。データ品質の劣化につながる望ましくない対応だけを全て挙げた組合せはどれか。

- a 事業部門のデータ品質管理の実務を、データオーナーから任命を受けたデータスチュワードが、情報システム部門、DX 推進部門及び DMO（データマネジメント推進組織）と連携して担う。
- b データの入力規則やシステムによるチェック（バリデーション）を設けると、データ登録の即時性や柔軟性が低下するので、入力の形式や表現はデータ登録担当者が都度判断する。
- c 複数の情報システムに分散して保存されているデータを統合する際に、マスターデータの整合性及び一貫性を確保するための名寄せや重複排除を、対応ルールに沿って実施する。

ア a, b

イ a, c

ウ b

エ なし（全て望ましい対応）

問3 メタデータを次の a～c の三つに分類したとき、特に a（ビジネス及び業務に関するメタデータ）の整備が組織にとって課題となることが多い。この課題を解決する方法として、最も適切なものはどれか。

メタデータの分類		項目の例
a	ビジネス及び業務に関するメタデータ	データの意味，利用ルールの説明など
b	ITに関するメタデータ	テーブル名，カラムの型・桁の説明など
c	システム運用に関するメタデータ	データの作成日時，データ容量の説明など

注記 a はビジネスメタデータ，b はテクニカルメタデータ，c はオペレーショナルメタデータと呼称されることがある。

ア “業務とデータの関係の説明” は事業部門の内部的な情報であり，データサイエンティストによる分析の妨げになるので，a のメタデータには記さないでおく。

イ a のメタデータを情報システム構築時に一度整備した後は，更新誤りを避けるために，内容の追加や変更は事業部門では行わないでおく。

ウ データカタログツールを情報システム部門が中心となって各事業部門向けに個別に導入し，その運用を各事業部門に依頼する。

エ ビジネス及び業務に関する用語集（ビジネスグロッサリー）を各事業部門が参画して組織全体向けに整備し，a のメタデータの整備と併せて継続的に管理する。



データマネジメント試験（仮称） 科目 A のサンプル問題 解答例

問番号	正解
問 1	ア
問 2	ウ
問 3	エ